

本人の希望を尊重せよ！ 社宅再配置計画の変更について業務委員会を開催

12月17日、本部は「社宅再配置計画の変更について」の業務委員会を開催し会社から説明を受け協議をしました。

会社は、岐阜加納西の丸社宅と大垣室村町社宅に関する社宅の移動に関して、「これまで予定していた岐阜フラットの建設計画が地域の環境に関する諸事情により取り止め、新たに稲沢下津町社宅跡地に稲沢フラットを新設する」と説明し、このことに関して以下の議論を行いました。

組合：新設地が変更になった理由は何か。

会社：岐阜加納西の丸社宅の跡地において、地域の住民や自治体から歴史的、文化的な景観があることの指摘を受け、最近になり遺跡の発掘調査等も必要とされた。このことに配慮し、計画の変更の判断が余儀なくされた。

組合：岐阜加納西の丸社宅の方と大垣室村町社宅の方が、本来ならば岐阜フラットに移転するはずが、会社が説明する諸事情により建設ができなくなり、そして稲沢フラットを新たに建設する。それに伴い、大垣室村町社宅の方は市中の借上げ社宅か名古屋地区の社宅にとりあえず移転し、いずれは稲沢フラットに集約するということか。

会社：そうだ。

組合：その名古屋地区の社宅に移転された方も、いずれは稲沢フラットに行くのか。

会社：名古屋地区への移転希望の方はそのままがいい。

組合：稲沢フラットへの希望の方が借上げ社宅に入るということか。

会社：そうだ。

組合：市中の借上げ社宅というのはどういうところなのか。

会社：希望によりこれから決めるが、なるべく社宅の近くとか配慮したい。

組合：大垣室村町社宅には何世帯の方が住んでいるのか。

会社：3世帯である。

組合：会社の都合で移転が早まる。小学校とか中学校とか環境は大丈夫なのか。

会社：そのことも配慮し決めたい。

組合：ところで、当初の岐阜フラットを建てる計画の段階で、岐阜市等とは話をしていたのか。

会社：当時についてというより、最近になってこの話が出てきた。遺跡の調査が行われるということで、ここへの建設は厳しいという状況になった。

組合：計画の段階では説明がなかったのか。
会社：その時点で難しいという話はなかったと…
組合：岐阜加納西の丸社宅にはどれくらいの方が住んでいるのか。
会社：岐阜西の丸社宅から今借上げに住んでる世帯は数世帯である。
組合：跡地は売却するのか。
会社：まだ未定である。
組合：合わせて10世帯くらいか？
会社：大黒町等もあるので、その地域だけが対象ではない。
組合：稲沢フラットの最寄駅は稲沢か。
会社：稲沢だ。
組合：地域の治安などは安全か。
会社：もともと稲沢の社宅のあったところだから大丈夫だ。
組合：病院とか、学校とかも大丈夫か。
会社：稲沢社宅の環境と同じだ。
組合：間取りはどうなのか。
会社：名古屋フラットのイメージである。
組合：使用料も同じか。
会社：まだ決まっていないが、大きく変わるものではない。
組合：変わることもあるのか。
会社：そういうことはない。
組合：入居する部屋の広さによって入居基準等はあるのか。希望は聞くのか。
会社：広さだけではなく、階数などもあり、対象者の希望は聞くが様々なことを考慮して決めたい。
組合：移転費用は会社負担でいいか。
会社：そうだ。
組合：対象者への説明はもうやっているのか。
会社：これからである。
組合：説明は各職場で具体的にやるのか。
会社：大きなところは地域に行って説明を行う。小さなところは職場に行って説明することになる。
組合：200戸を作って、どれくらいの入居率があるのか。大きなものを作って空きが出るよりも、借上げを活用した方が良い場合もあるのではないか。
会社：土地の活用を考えた時に、少しを作るのか、ある程度の物を作るのかがあるが、一番合理的な物として考えた。
組合：建物、土地の所有はJ R 東海不動産か。そこから会社が借りるということではないか。
会社：今のところはそうだ。
組合：社宅の再配置等は、これですべて完了ということではないか。
会社：22年3月時点でほぼ完了と説明したが、今回は変更があったがこれでほぼ完了と考えている。
組合：持ち家制度との関係で、社宅の縮小等の考えはないのか。

会社：今のところ縮小の考えはないが、未来のことは何とも言えない。

組合：移転については対象者の希望を尊重して進めるよう主張する。

会社：了解。

以 上